

日本共産党議員の一般質問

根室市議会12月定例会月議会が開会しました。初日の15日の一般質問では、日本共産党の鈴木、橋本、神の3氏が登壇し、市政全般にわたり市長、教育長に質問しました。今週の市議団ニュースでは、3氏の一般質問の主な内容について、登壇順にご紹介します。

鈴木一彦議員

一・新年度予算について

鈴木議員は、国の新年度予算について、財政審が社会保障の大幅削減を求めた建議（意見書）財務省に提出したことを批判し、市長として、市民の福祉充実にふさわしい財源対策を国に求めるべきだと訴えました。また、根室市の新年度予算が、現段階で13億円を超える財源不足にあることについて、その解消の見通しと市民要望に定める施策の実施について、市長の見解を求めました。

二・公共交通について

（一）JR花咲線について
JR北海道は、3月のダイヤ改正に向けて、花咲線の減便の方針を打ち出しました。市民の通学や通院、釧路や札幌への交通手段として欠かせない花咲線の減便は、市民生活に大きな影響を及ぼします。鈴木議員は、JR北海道に対してはもちろん、国に対しても、花咲線の現状維持を求める事とともに、要望活動以外にも市としてできることを行うべきだと主張しました。

（二）公共交通について

三・介護をめぐる諸問題

四・教育をめぐる諸問題

（一）学力問題について

（二）「いじめ」問題について

最近、いじめを苦にして

の自殺のニュースが目立つ中、

市教委は「いじめ防止基本方針」を今年度内に

策定することになりました。

鈴木議員は、その内容

について質すとともに、「子どもの権利条例の制定を求めました。」

橋本竜一議員

一・根室市のエネルギービジョン策定における基本的な方向性について

根室市では現在、エネルギービジョンの策定をすすめています。橋本議員はその基本的な視点をたずねるとともに、「脱原発への道筋」「自然との共生のはかり方」「市独自の開発行為規制」「利用促進の制度や体制の整備」などの視点の必要性について、市長の見解を問いました。

二・子育てファイルの運用状況と「特別な教育的ニーズをもつ子ども」への今後の支援体制のあり方について

三・根室市の「総合的な空き家等対策の取り組み方針」に基づく施策の具

体化について

橋本議員は、「総合的な

空き家等対策の取り組み

方針」において、空き家

等対策協議会の設置や空

き家等対策計画の策定な

どが挙げられており、こ

れらの枠組みを明確化し

められて行くと考えられるが、今後のスケジュールなど進め方について考

え方を伺うとともに、市内の空き家について対策

を進めていくためには、

個々のケースについて実

態把握など調査整理をし

たうで進めていく必要

があり、その膨大な作業

を宇井新ぬるため相応の

体制を整備する必要性に

ついて市長の見解を問

いました。

四・水道料金等に関わる

課題について

五・市立病院における職

員体制について

省略

神忠志議員

一・今年の地域経済の現

状認識について

省略

二・漁業環境の変化とその

振興策と対応策について

（一）サケ・マス流し網禁止

問題への対応について

神議員は、今後のサケ

マスの水揚げ問題を考え

るうえで、ロシア海域で

日本漁船が漁獲したサケ

マス、特に北洋ベニザケ

を花咲港に水揚げするこ

とが重要であると指摘。

それがロシア側にとつて

も利益となるということ

を認識できるような交渉

をするべきだと述べまし

た。また、国の第2次補

正予算では、サケマス流

し網対策関連予算案の全

体が明らかになると予想

されるが、そのうちのホ

タテ漁場整備について、

十分な調査費の確保と、

これまでの国の制度を越

える上乗せ措置、柔軟な

対応・活用を求めるべき

と主張しました。

（一）「漁業振興計画」の再

構築とその方向について

省略

三・酪農業の現状とTP

Pへの対応について

（一）根室市の酪農業へ

のTPPの影響について

神議員は、自民党が野

党時代「TPP絶対反対」

と公約していたと指摘。

いま「国会決議はすべて

反故にされた。決議と大

筋合意の根拠を示せ」と

いう関係者の怒りの声を

紹介し、政府を強く批判

しました。

（二）今後の対応とその

方向について 省略